

月報 シオン山

2026年3月1日発行 (No505)

日本バプテストシオン山教会

☎803-0846 北九州市小倉北区下到津2-15-21

Tel(093)561-0772 Fax(093)561-0760 E-mail:bapshion@eagle.ocn.ne.jp

.....

【月間聖句】

人の子は仕えられるためではなく仕えるために、また、
多くの人の身代金として自分の命を献げるために来たのである。

(マルコによる福音書10章45節)

輝く十字架、黒い十字架

島田利一

高校生の時に白萩町の九州電力(株)白萩社宅に住んでおり、そこから小倉工業高校後門側の坂道を下って小倉工業高校前バス停からバスに乗り学校に通学していた。

冬の時は暗くて分かりずらかったが、夏の時は眩し過ぎる位に鮮明に見えた。それは小倉工業高校後門横の坂道を下ってバス停に向かっている時に、進行方向の右側から朝日に照らされる十字架である。その十字架は、小高い山の上から十字架だけが顔を出して非常に強く光輝いていた。その十字架を見ながら何気なく通学していた。そして帰りは、バス停からその坂を登って帰宅する時は、十字架は夕日に背後から照らされて黒くしかも十字架の形も鮮明に見えた。最初はそれだけであった。

しかし学校で些細なことから学友とトラブルになり、随分と悩んでいる時に、その十字架に何となく心が引かれ出した。いつか、あの十字架の下に行って十字架をまじかに見て見ようと思った。そして、その時は突然実現した。それは忘れもしない土曜日、暑い夏の夕方であった。当時、似たようなバス路線があり間違ったバスに乗ってしまった。井堀四角を日明方面に曲がった為にバス停から降りて、そこから自宅に帰ろうとしたが、ここがあの十字架の近くだと気が付き付近を探索しているうちに、シオン山幼稚園の坂道に出た。坂道を登りきった所で西南女学院校内の側道に出た。恐る恐る進んで見ると、あの十字架が聳える教会に出た。シオン山教会である。門の前に立つと同世代の少年達が、駐車場の中で楽しく遊んでいた。土曜日の夕方は毎週、少年会の例会がある日である。私は、その光景をどこか羨ましい気持ちで見ている。その時 1 人の少年が私の所に来て「一緒に入りませんか」と誘ってくれた。とても嬉しかった。彼の名前は松隈潤さんである。そして顧問の山田輝道先生を中心とした聖書研究会に参加して、そして日曜日の礼拝に出席する様に勧められた。これが私の日本バプテストシオン山教会との出会いであった。